



第62回和道流空手道連盟全国大会

# 和道流

和道流空手道連盟



## 5. 組手試合要項

### ① 組手試合部門

#### 組手試合 男子団体・個人

※男女共、組手団体戦は一般と大学の部を一緒に行います。

組手試合		年齢	出場選手数	登録選手数	参加費	備考欄
(1)一般・大学	男子団体戦	18歳以上	3名	5名	1チーム 14,000円	※1支部2チーム
(2)一般・大学	男子個人戦	18歳以上	30名	*1支部当たり	1名 5,000円	
(3)高校生		15-18歳			1名 5,000円	
(4)中学3年生		14・15歳			1名 4,000円	
(5)中学1・2年生		12-14歳			1名 4,000円	
(6)小6年生		11・12歳			1名 4,000円	
(7)小5年生		10・11歳			1名 4,000円	
(8)小4年生		9・10歳			1名 4,000円	
(9)小3年生	8・9歳	1名 4,000円				

#### 組手試合 女子団体・個人

組手試合		年齢	出場選手数	登録選手数	参加費	備考欄
(10)一般・大学	女子団体戦	18歳以上	3名	5名	1チーム 14,000円	※1支部2チーム
(11)一般・大学	女子個人戦	18歳以上	30名	*1支部当たり	1名 5,000円	
(12)高校生		15-18歳			1名 5,000円	
(13)中学生		12-15歳			1名 4,000円	
(14)小5・6年生※		10-12歳			1名 4,000円	
(15)小3・4年生※	8-10歳	1名 4,000円				
(16)小2年生以下※	男女個人戦	5-8歳			1名 4,000円	

※(14)小5・6年生、(15)小3・4年生、(16)小2年生以下は、参加人数によっては学年を分けて実施する場合があります。

#### 組手試合 熟練の部 男女個人・基本組手男女

組手試合		年齢・段	出場選手数	登録選手数	参加費	備考欄
(17)熟練の部	男子個人戦	弐段以上 40歳以上	30名	*1支部当たり	1名 5,000円	
(18)熟練の部	女子個人戦	弐段以上 40歳以上			1名 5,000円	
(19)基本組手	男・女	初段以上 18歳以上	2チーム	*1支部及び1地区当たり	1チーム 10,000円	

※ 基本組手試合のチーム編成は、支部単位・地区単位も可とする。

### ② 一般・大学組手の部における指定選手の資格

- ①第61回和道流空手道連盟全国大会(令和7年度)組手個人戦で、上位3位までの成績を収めた者。
- ②昨年度に実施された世界選手権大会及びアジア等各種大会に日本代表選手として出場した者。
- ③昨年度に実施された全日本選手権大会・国民体育大会・全日本学生選手権大会等国内大会に於いて、組手個人戦3位までの成績を収めた者。  
海外の選手については、各国の認められた大会に於いて組手個人戦3位までの成績を収めた者。

### ③ 組手試合・審判規定

(1)組手試合団体・個人……

(公財)全日本空手道連盟空手競技規定及び和道流空手道連盟の審判申合せ事項により行う。

(2)組手試合 熟練の部・基本組手……

次の④(2)-1 組手試合 熟練の部 試合判定

④(2)-2 基本組手試合 ルール及び判定により行う。

#### ④ 組手試合 時間・勝敗の基準

##### (1)組手試合 男子女子団体・個人

一般・大学	男子 女子	団体戦 個人戦	18歳以上	2分 6ポイント差
高校生	男子 女子	個人戦	15歳 ～18歳	
小学生 中学生	男子 女子			5歳 ～15歳

※ただし、一般・大学男子決勝戦は、3分8ポイント差、女子決勝戦は、2分8ポイント差で行う。

##### (2)組手試合 熟練の部 男女個人・基本組手男女

①熟練の部	男子	個人戦	弐段以上	流し1分
	女子		40歳以上	
②基本組手	男・女	2人1組 男女自由	初段以上 18歳以上	

##### (2)-1 組手試合 熟練の部 試合判定

- 組手試合はポイントを取る技を重視せず、各自の身体操作が「流す、往なす、乗る」、また「転位、転体、転技」、そして「攻防一体、攻防自由」を為すために正しく使われているかを判定する。  
試合中の態度では、相手の技が決まった時にその技に敬意を持っているかを判定する。
- 試合の優劣は、当事者2名が一番感じる事が出来、一方の技が決められた後に後者はそれを自覚せず攻撃を続けた場合は減点する。(一歩下がり礼をすることも得点に加味される。)  
試合であるため勝敗はあるが、それに拘ること無く、お互いが試合を通じて共に成長出来る戦いが望ましい。

##### (2)-2 基本組手試合 ルール及び判定

###### □ルールについて

- 予選の基本組手は3本目、4本目、8本目の3本を指定。順番は自由とする。  
決勝戦は1本目から10本目までの基本組手から3本を選び、各チームが独自の構成で演武する。
- 独自の構成とは、指定された基本組手を初めと終わりの礼以外は途中分かれて正位置に戻らず、分かれた際に初めの組手の構えに即時戻り、攻防の間合を保持したまま次の技へと繋げて行く。  
その際に競技者の捕り身、受け身の順序が自由で有る事、また基本組手の開始順序も番号に準じなくとも良い。
- 基本組手5本目と10本目の投げ技に関しては、演武の構成を考慮し最後まで投げるか途中で分かれるかを定めることができる。  
途中で分かれる場合は、5本目は捕り身のエンピを行った後と10本目では捕り身が背手金的打を行った後とする。

###### □採点基準

- 和道流の正しい基本組手がなされ、全体の流れ、間合い、目付、拍子、呼吸、姿勢、均衡が優れ指定演技が正しく履行され技の構成が優れていること。
- 試合の判定は、フラッグ方式で行う。

⑤ 以下熟練の部を除く共通項目

- (1)監督は、一支部2名とし、選手と兼任してもよい。(監督ID以外は、会場内の立ち入りを禁止)
- (2)監督IDの貸し借りは禁止する。
- (3)団体戦において、登録選手以外の出場があった場合は、そのチームを失格とする。
- (4)サポーター・テーピングの使用の場合は、ドクターの許可を得ること。  
皮むけやタコ等の場合もあるため、1回戦でもテーピング使用可。
- (5)マウスピースは、出来るだけ歯科医師指定の物を使用すること。  
※当日、売店では販売していません。
- (6)空手着等着用は、「7. 諸注意要件の「(11)空手着の着用に関する規定」通りにすること。

⑥ 安全具着用一覧及び持物

(1)種目に従い安全具の着用を行うと共に持物に留意

安全具着用一覧(※安全具未着用の選手は、2分以内に準備する。)

種目	メンホー	拳サポーター (赤・青)	マウスピース	ファールカップ	ボディー プロテクター	インステップガード	シンガード
一般	×	○	○	○	○	○	○
高校生男子～ 小学3年男子	○						
一般	×	○	○	任意	○	○	○
高校生女子～ 小学3年女子	○						
小学2年 以下男女	○	○		任意	○ 外付け可	○	○
熟練 男子			○	任意			
熟練 女子			○	任意	○		
基本組手 男女							

※メンホー型Ⅶ、拳サポーターは、原則として全空連指定のもの

※拳サポーター、インステップガード、シンガードについてはWKF規定品も可

(2)持物

- ・和道流空手道連盟2026年度会員証
- ・マイナ保険証、資格確認書・・・当日の試合中における身体事故時に必要
- ・テーピング許可書
- ・IDカード

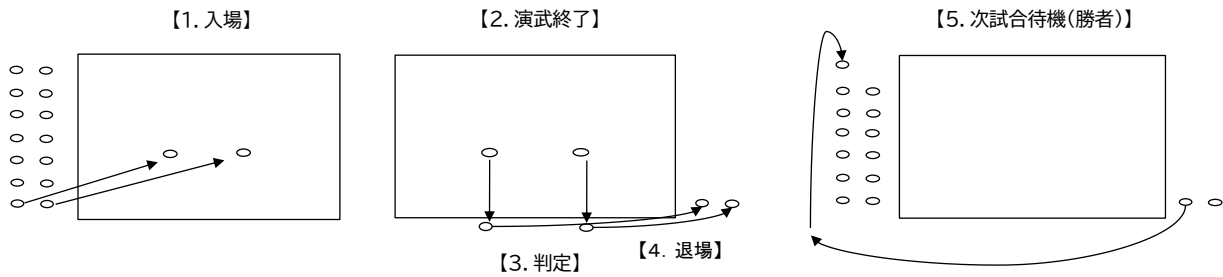
※支部単位で提出

- ・メディカルチェック表
- ・棄権シート



(2)空手着等着用は、「7. 諸注意要件の「(11)空手着の着用に関する規定」通りにすること。

(3)入退場方法について



### ③ 形試合 勝敗及び評価基準

(1)一般・大学～小学校2年生以下及び壮年の部 採点方法

- ※ 和道流の形を演武すること。
- ※ 入退場時を含め、自然な動きを心掛けること。(ロボットのように機械的な動きをせぬこと。)
- ※ 採点は、「技術点」、「正確さ」、「迫力」、「芸術性」、「総合点」をもって評価する。

① 審判は、原則として主審1、副審2名とする。(勝ちの宣言は、記録係が行う。)

② 形試合の判定は、フラッグ方式で行う。

③ 形試合は、2人同時に指定形を演武する。

- ・2人同時の演武は、スタート時に短笛を吹く。
- ・決勝戦は、1人で自由形を演武する。(熟練の部を除く)

(2)-1 熟練の部採点方法

※ 審判員は3名。下記ア～オの項目を各審判員が初めから終わりまで、同じ項目を審判する

ア 技術点 :腕、足の操作ではなく体全体で操作されていること

:順突き、逆突き、猫足移動等の運足軌跡の正確さ

:回転動作の体の使い方

:各動作中、引手の肘が緩まないこと

イ 正確さ A:各挙動、初動作が体の中心で動き、初動作が速く終動作まで勢いがあること

:体の移動時、体軸が真直ぐなこと

:各挙動の姿勢に力みがなく、重心が自然法則に従い安定していること

B:各挙動、終了動作にブレがないこと。しっかり体全体を止めること(無駄な力、動作の制御)

:体の上下左右

:突き、受けの極めのブレ

:膝の上下左右のブレ

ウ 迫力 :正確に制御された動きの終動作で、気力が体内から体外に放たれる威力

:腹式呼吸が正しく各動作で制御されていること

エ 芸術性 :全体の動きが自然で優雅なこと(ロボットのように機械的な動きをせぬこと)

オ 総合点 :上記ア～エ項目の総合的評価

※天位、地位、人位の決定は、全試合後、審判員で協議の上決定

※決勝戦進出選手でも、天位、地位に値しないと判定された場合は、人位でも構わない

(2)-2 熟練の部 表彰方法について

表彰はレベル別とし、次による 優勝のレベル・天位 準優勝のレベル・地位 3位のレベル・人位

※ 試合において、優勝、準優勝の優劣が付け難い場合は決勝進出者2名を同列地位とすることが出来る。  
また、地位にも達しないと判定された場合は人位2名とする。

※ 天位に値する選手は、他の参加選手よりも明らかに技術、態度が優れている場合のみ選出することとする。

## 7. 諸注意要件

- (1) 参加資格:原則として和道流空手道連盟会員として1年以上登録済みの者。  
(当日、会員証を持参のこと)
  - (2) 団体戦・個人戦に登録(申請)した選手の変更は不可。
  - (3) 上記の項目に違反した場合、その支部は失格とする。
  - (4) 試合当日の登録選手の変更も認めない。
  - (5) 試合における異議申し立ては、監督に限り認める。
  - (6) 武道修行者として、ふさわしくない態度の者は、失格とすること有。尚、団体戦も同様とする。
  - (7) 欠席・棄権・選手登録名の訂正は、試合開始までに種目ごとに受付に必ず用紙を提出すること。
  - (8) 参加人数によって、敢闘賞・表彰数を変更することがある。
  - (9) 表彰式は、全て2日目に行う。表彰式に不在の者は、原則として、受賞資格を喪失する。  
(※繰り上げ表彰なし)
  - (10) 監督は空手着を着用し、事前配布した監督用IDカードを携帯すること。
  - (11) 空手着の着用に関する規定
    - ①「和道流」及び「所属支部名」のワッペン等以外については、隠す(覆う)こと。
    - ②帯でウエストを締めたと時の上着の長さは、腰を覆うほどの長さとし、大腿の4分の3までとする。女子の場合、空手着の下に白無地Tシャツを着用すること。
    - ③上着の袖の長さは手首までとし、前腕の中程より短くてはならない。  
上着の袖はまくってはいけない。
    - ④ズボンの長さは、少なくともスネの3分の2を覆う長さとし、踝がかくれてはならない。  
裾をまくってはいけない。
    - ⑤ヘアピン、クリップ、リボンの装飾と眼鏡の使用は、禁止する。
- ※当規定に沿わない空手着を着用している場合は、1分以内に取り替えること。

## 8. 監査役・審判員の資格

- ①大会実行委員会の委任した審判員。
- ②国際審判員の資格・全空連が認定した資格審判員。
- ③全国指導者講習会・研修会において、出席基準を満たし、形試合のみ認定された者。
- ④審判員の服装は、シングル紺色プレザー・和道流エンブレム・和道流ネクタイ・半袖の白シャツ・無地の灰色ズボン、無地の紺又は黒色の靴下、黒のスリッポン(金具、紐なし)の靴を着用。

## 9. 実行予算

本大会は、連盟規約第35条の規定に基づく特別会計で運営するものとする。

- ①参加費
- ②責任分担金
- ③役員広告費
- ④一般広告費
- ⑤寄付金等

## 10. 表彰

各試合別に上位3位までを表彰する。

組手一般・大学男女団体戦は、優勝チームから最優秀選手を1名、優勝・準優勝チームから優秀選手を各1名表彰する。(監督推薦による)

※参加人数によって、敢闘賞・表彰数を変更すること有り。

※表彰式は、全て2日目に行う。表彰式に不在の者は、原則として、受賞資格を喪失する。

## 11. 試合組合せ決定

令和8年7月5日(日)に、大会実行委員会において決定する。

## 12. 医療処置

- ①選手の試合中における身体事故は、当日の応急処置及び医療指導に限り主催者の担当医師が行う。その後の処置については、自己責任とする。
- ②海外からの参加者は、必ず旅行保険に加入しておくこと。

## 13. その他注意事項

- ①大会当日、参加選手の健康状態(カゼ・ケガ等)が悪い場合は、大会本部に報告し、医師の診断を受けて参加の有無を決定すること。  
健康管理については、各支部の責任で医療機関の診断を受け、健康を確認しておくこと。  
尚、試合当日までの健康管理についても各支部が、責任を持って行うこと。  
関係書類は、各支部で保管して、当日持参すること。
- ②東京武道館の駐車場は、当日、駐車は不可。  
会場までは公共交通機関を利用のこと。

## 14. 個人情報関連

取得した個人情報に関しては、大会参加メンバー表、大会役員、係員、結果発表等、本大会の運営以外には使用しない。

## 15. 東京武道館からの指導事項

- ①近年、館内で置き引きが発生しているため、参加者は、十分注意のこと。
- ②中央ホールや廊下で更衣や練習をしないこと。



### 3. 提出書類 ※和道流HPにてダウンロード可能

- ① 大会プログラム住所録記載事項・・・返信用④ 必要事項を記入のうえ、提出(変更・修正支部のみ)
- ② 大会プログラム等申込書一覧・・・返信用⑥-1 必要事項に○を付けて、提出
- ③ 大会プログラム協賛広告申込希望者・・・返信用⑥-2 広告原稿用紙を提出又は、原稿をメールにて提出
- ④ 審判名簿・・・返信用⑥ 大会当日に審判をしていただける方(支部)のみ提出
- ⑤ 大会係員報告書・・・返信用⑥ 大会当日に係員をしていただける方のみ提出
- ⑥ 会員登録申込書・・・和道流HP(各申請書 会員申込書手順書 参照)

会員未登録者は、大会エントリー不可(※大会当日、会員証持参)

※①～⑥提出先 手書き申込支部(和道流空手道連盟) ・ Eメール申込支部(富士ソフト企画株式会社)

(提出先)	〒177-0031 東京都練馬区三原台3-21-3 和道流空手道連盟本部事務局 宛	TEL 03-3923-4467 FAX 03-3923-4549
-------	--	--------------------------------------

- ⑦ 大会参加支部 …… Eメールにて申込みをする。(支部長・事務担当以外可)  
手書きでのエントリーには対応しておりません。

### 4. 提出・申込期限 令和8年6月8日(月) ※厳守

### 5. 振込方法

- ① 現金書留
- ② 郵便振込 …… 同封の振込用紙を必ず、使用してください。

口座番号 加入者名	00110-9-69064 和道流空手道連盟
--------------	---------------------------

**[ 記入例 ]** 通信欄には、①送金の明細・②③支部番号・支部名・住所・氏名を必ず記入してください。

払 込 取 扱 票		払込票兼受領証
00	口座番号 (右請めにご記入ください)	00110-9
	00110-9	右請めにご記入ください
	和道流空手道連盟	和道流空手道連盟
	金額	69064
	料 金	千 百 十 万 千 百 十 円
各原の※印欄は、払込人において記載してください。	① ・参加費 円 ・大会責任分担金 円 ・役員名刺広告代 円 ・大会広告代(サイズ) 円 ・大会パンフレット 円 ・会員登録料 円 合計 円  ② 支部番号 W-□□-□□ 支部名 ・住所・氏名  (電話番号) - - )	③支部番号 W-□-□□ 支部名 住所 氏名  (消費税込) 受付局日附印  料 金 円 特殊取扱
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">             ※web申込された支部は、 記載の必要はありません。           </div>	記載事項を訂正した場合は、その箇所を訂正印を押してください。 切り取らないで郵便局にお出しください。
	裏面の注意事項をお読みください。(郵政省)	附 印

※ 振込期限 令和8年6月8日(月) 厳守

注：振込用紙(払込票兼受領証)を領収書とさせていただきます。別途、領収書が必要な方は、連盟までご連絡ください。

注：大会関係の振込をする場合は、必ず同封の振込用紙を使用してください。

## 6. 参加申込み方法

### [ Eメール申込みの場合 ]

#### 1. 申込手順

##### ① 申込ファイル請求 ( 支部担当 → 富士ソフト企画 )

Eメール ②宛先 : [karate-wd@fsk-inc.co.jp](mailto:karate-wd@fsk-inc.co.jp) と入力

Eメール ③件名 : 第62回和道流空手道連盟全国大会の申込ファイル請求と入力

支部番号(W-□□-□□)・支部名・担当者名を入力

#### <記入方法>

②宛先 : [karate-wd@fsk-inc.co.jp](mailto:karate-wd@fsk-inc.co.jp)

CC:

③件名 : 第62回和道流空手道連盟全国大会の申込ファイル請求

#### ③文面

「申込ファイル請求」

支部番号 : W-□□-□□

支部名 : □□□□□ 支部

担当者名 : □□ □□

#### 2. 富士ソフト企画からのEメール確認 ( 富士ソフト企画 → 支部担当 )

富士ソフト企画から送られてきたEメールを確認し、「大会申込ファイル」を入手する。(出場登録者用シート・大会申込集計表etc)

#### 3. 大会申込 ( 支部担当 → 富士ソフト企画 )

「大会申込ファイル」に必要事項を入力し、Eメールに添付して申込みをする。  
今大会より出場選手名の「フリガナ」入力が必要となります。

Eメール ②宛先 : [karate-wd@fsk-inc.co.jp](mailto:karate-wd@fsk-inc.co.jp) と入力

Eメール ③件名 : 第62回和道流空手道連盟全国大会の出場申込と入力

③文面には「出場申込」

支部番号(W-□□-□□)・支部名・担当者名を入力

#### <記入方法>

②宛先 : [karate-wd@fsk-inc.co.jp](mailto:karate-wd@fsk-inc.co.jp)

CC:

③件名 : 第62回和道流空手道連盟全国大会の出場申込

#### ③文面

「出場申込」

支部番号 : W-□□-□□

支部名 : □□□□□ 支部

担当者名 : □□ □□

注意 : 他の団体の申込ファイル流用は厳禁(受領分にて団体毎に行う)

**申込期限 : 令和8年6月8日(月)**

※締切後の出場選手登録は、一切受け付けません。

4. 確認 ( 富士ソフト企画 → 支部担当 ) ※随時、Eメールを確認してください。
- 富士ソフト企画からEメールの返信にて「出場申し込み受領」を確認してください。
  - 「出場者集計表」の公開にて申込人数や種目を確認してください。
  - 「トーナメント表」の公開にて出場者ごとの申込を確認してください。
- ※各支部からの申し込みが出揃いますと、上記のアドレスHPにトーナメント表を公開します。  
各支部登録者のみアクセス出来ますので、自分の支部の登録者の氏名等に誤記がないか、同一支部同士の組み合わせになっているものはないか、等を確認し、訂正があれば富士ソフト企画宛てにメールで申し入れをします。
5. 富士ソフト企画からのお願い  
申込登録漏れが発生しないため最善を尽くしますのでご理解とご協力をお願いします。  
また、申込時に「フリガナ」を入力して頂きますのでご協力をお願い致します。  
深夜、土日祭日の電話対応が出来ません。Eメールにて対応させていただきます。
6. 和道流空手道連盟全国大会実行委員会からのお願い
- ①出場者登録を「富士ソフト企画」に依頼しています。  
ご不明な点は、富士ソフト企画にお尋ねください。
  - ②締切日以降の選手登録は、一切受けませんので、必ず期限をお守りください。
  - ③参加費等の納入も申込時に必ず、お振込ください。  
※参加費は、同封の振込用紙か現金書留で「和道流空手道連盟」に納入してください。
  - ④Eメールアドレス(karate-wd@fsk-inc.co.jp)は、担当者の方のみ使用してください。  
担当者以外の方の使用は禁止です。

**申込期限 : 令和8年6月8日(月) ※厳守**